

# 第16回 和光園研究発表会ベストショット



2024年12月19日161名(内部69名)の参加で開催し以下の7事例を発表致しました。発表者からのメッセージをお送りします。

和光園中庭の雪景色

## 生きがいは人生を豊かにする

### ～コロナ禍を乗り切った学習療法～

介護老人保健施設 和光園(通所リハビリ)  
介護福祉士 川野 茜

### ◆学習療法 取り組み ～MMSE(見当識と計算)へのアプローチ～

① 計算:学習後に7引きゲームを楽しく実施  
・7引きゲームのボードを使用し100から7を5回引いていく  
・学習者に、先方と後方を選んでもらい、職員と交互に答えていく

項目	R5.1	アプローチ	R6.1	アプローチ	R6.12
① 計算 (5点)	1	7引きゲーム	2	7引きゲーム	5

② 見当識:学習療法の開始前後に次の学習日の確認をする  
・カレンダーを使用しての習慣化

項目	R5.1	アプローチ	R6.1	アプローチ	R6.12
② 見当識 (1点)	0	学習日の確認 壁面習慣化	0	学習日の確認 壁面習慣化	1

2025年はスケジュール帳作成予定



通所リハビリテーション  
介護福祉士 川野 茜

介護福祉士 3年目、初めて事例作成と研究発表をしました。今回、活用したF-SOAIIPは順序立てて考えをまとめる、多職種の記録でその方の今が見えるという事、人生を豊かにする計画を立てる最高の手段であるという事を学びました。今回の学びを活かし、利用者様の最高の笑顔を引き出せるよう日々努めていきます。

## これが私の生きる道

### ～エピソード記憶からの生きがい探し～

### -内的体験から考察する学習支援アプローチ-

【共同研究者】  
医療法人 信和会  
グループホームみらい  
学習療法委員会

### -記憶の定着-(住まい・季節の認知)

学習療法アプローチ  
日常生活アプローチ

1 実践者の名前が書える  
学習前に実践者の名前を書き、学習終了後にA氏に実践者の名前を書く→書えたら褒める

2 料理の準備と調理  
料理をしながら日付・季節を言った後、見ずに日付と時間を覚えていただく→褒められたら褒める

3 季節の写真を取り  
春夏秋冬の写真を取り、今現在の季節の写真を選んでいただく→正しく選べて褒められたら褒める



グループホーム みらい  
認知症介護指導者 中嶋 博徳

今回の事例を通して、認知症の人の困りごとは、認知症の人の「内なる声」であり、私たちのケアの道しるべになることを学びました。今後も認知症の人の支援をさせていただき施設として、脳機能の維持・改善に努めたケアを行い、入居者様がワクワクできる日常を過ごしていただけるよう努めていきたいと思っております。

## 「学習療法で今を笑顔で生きる」

### ～要介護5の私が要介護3になるまで

(令和6年8月号 月刊ケアマネジメント掲載事例より)

医療法人信和会 介護老人保健施設 和光園(入所)  
介護支援専門員 中根紗弥加

### ◆2週間の在宅復帰はKさん第2の人生へのスタートライン

※通所利用時にK氏と入所は交換日記/通所は交換日記の記入を学習療法の月次目標で切れなく支援し2週間の楽しい在宅生活を終了。再入所へ

在宅復帰 → 自宅から通所へ

【再入所後の学習療法は...】学習療法・生活リハビリ



入所療養  
介護支援専門員 中根紗弥加

ケアマネとして私が作成しているケアプランに学習療法がどのように活かされているのか、総合的援助の方針として「今を笑顔で生きる」への支援になっているのかを、事務長が掲載した令和6年8月号の月刊ケアマネジメントからも報告させて頂きました。発表を通じてこれまでの支援の振り返りができ、学習療法について今まで以上に深く知る機会となりました。

## 通所型サービスCから再び脳の健康教室へ

### ～ICTを活用した事例～

介護老人保健施設 和光園  
理学療法士 今池 有貴

### 3点セットでの運動

運動中はICTを活用

運動の強さを測る新設計(MM-Ha)

運動計と連動し運動強度をモニタリングする専用IC

リアルタイムに脈拍数と運動強度を計測・表示!



リハビリ  
理学療法士 今池 有貴

通所型サービス C について発表させていただきました。今年度から ICT を利用し、運動強度の可視化を行っています。可視化される事で、利用者様同士の声掛けが増え、意欲の向上が図れています。今後も C 型で元気アップを図り、利用者様の生活機能の向上に努めていきます。

## 個々の背景に着目したアクシデント分析の効果

### ～F-SOAIIPを活用して～

介護老人保健施設 和光園  
医療安全委員会 中村 裕

### 結果③ 取り組み内容の効果検証

F-SOAIIP分析開始後の効果検証(R2～R5)

項目	R2	R3	R4	R5
スコア	83	86	83	75

初10%減少 F-SOAIIP分析開始



リハビリ  
理学療法士 中村 裕

今年度は医療安全委員会の取り組みについて発表させていただきました。このような機会があることで取り組みの振り返りができ、今後に繋がると考えています。今後も利用者様の安心・安全に繋がるよう取り組みを継続していきたいと思っております

## ふくふく認証(働きやすくやりのある職場)

### 取得後の課題整備

介護老人保健施設 和光園  
発表者: 地原 忍  
協力者: 吹田 カズ之(事務長)  
中村 裕(理学療法士)

### 今日も安全に

ご清聴ありがとうございました

指導職員一同ノーリフティングケア定着に向け頑張ります



入所療養  
認定介護福祉士 地原 忍

「ノーリフティングケアで今日もご安全に」の唱和も定着し、部署内ではケアの際、「この動きは不良姿勢じゃない?」「どう介助するべき?」など腰痛予防に向けた活発な意見がでるようになりました。1月20日より、大分県介護技術講師養成研修修了者から技術チェックを実施し、全職員への技術伝達予定です。ふくふく認証更新時に自信をもって県にノーリフティングケア導入について報告できるように努力していきます。

## 反応速度は片脚立位に代わる指標となるのか

### ～スープリュームビジョンを使用した取り組み～

医療法人信和会 介護老人保健施設 和光園  
作業療法士 長野 由起子  
協力: 通所リハビリスタッフ

### 3.方法(1)

令和5年11月から令和6年5月までの7か月間毎月、片脚立位とTUG、反応速度検査を実施

反応速度: セノー社製スープリュームビジョンL(以下SV)を使用。30秒間に点灯する数字を押し続ける回数測定。数字の高は1(最も狭い)とした。立位にて行い、両手、片手の使用は特に制限は設けなかった。2回実施し最高回数を採用。

TUG: 竹井機器工業製のマルチタイマーを使用。2回実施し最短時間を採用。

片脚立位: 開眼にて片立ちの時間をストップウォッチを使用し計測。左右2回ずつ行い合計4回の内の最短時間を採用。

転倒状況: 本人、家族より聴取



リハビリ  
作業療法士 長野 由起子

令和5年に導入したスープリュームビジョン(動体視力機器)を用いたバランス能力の評価について発表させて頂きました。研究発表会では様々な部署の取り組みや発表を聞き、刺激を受けると共に勉強になっています。利用者様の生活向上のために今後も精進して参ります。

# おもと

## 初春の号外版

## 和光園理

笑顔あふれる、和みの空間へ  
目的 医療ケアと日常生活サービスを  
提供することによって、  
家庭への復帰を目指す施設

発行

医療法人 信和会  
介護老人保健施設  
和光園

学習療法研究会  
令和7年1月  
☎0978-37-3887